

北千里駅前まちづくりの方向性

はじめに

北千里駅前千里北地区センターは、開設から50年以上が経過し、施設の老朽化・陳腐化が進行する中、更新時期を迎えようとしています。

こうした中、平成28年（2016年）4月に、行政や市民の将来像の共有のため、市民、学識経験者、商業者からご意見を頂き、まちづくりの道しるべとなる「北千里駅周辺活性化ビジョン」を策定しました。

「北千里駅前のまちづくりの方向性」は、北千里駅周辺活性化ビジョンをはじめとする上位計画等に示された方向性を体系的に整理した上で、それらに沿って、北千里駅周辺活性化ビジョンの具現化や、まちづくり意見交換会等で得られた利用者ニーズの実現に向けてまちづくりを進めていくための、大まかな機能・施設配置の考え方を示すために取りまとめたものです。

目次

第1章 北千里駅前地区の概要

- 1 地区のなりたち
- 2 都市計画等の指定状況
- 3 地区周辺の土地利用状況
- 4 地区の現状と課題

第2章 上位計画の位置づけ等

- 1 上位計画
- 2 社会環境の変化

第3章 利用者ニーズ

- 1 北千里駅前まちづくり意見交換会の概要
- 2 主な意見

第4章 北千里駅前のまちづくりの方向性

- 1 北千里駅前のまちづくりの体系図
- 2 北千里駅前のまちづくりの方向性
- 3 まちづくりの実現に向けた方策

第1章

北千里駅前地区の概要

1 地区のなりたち

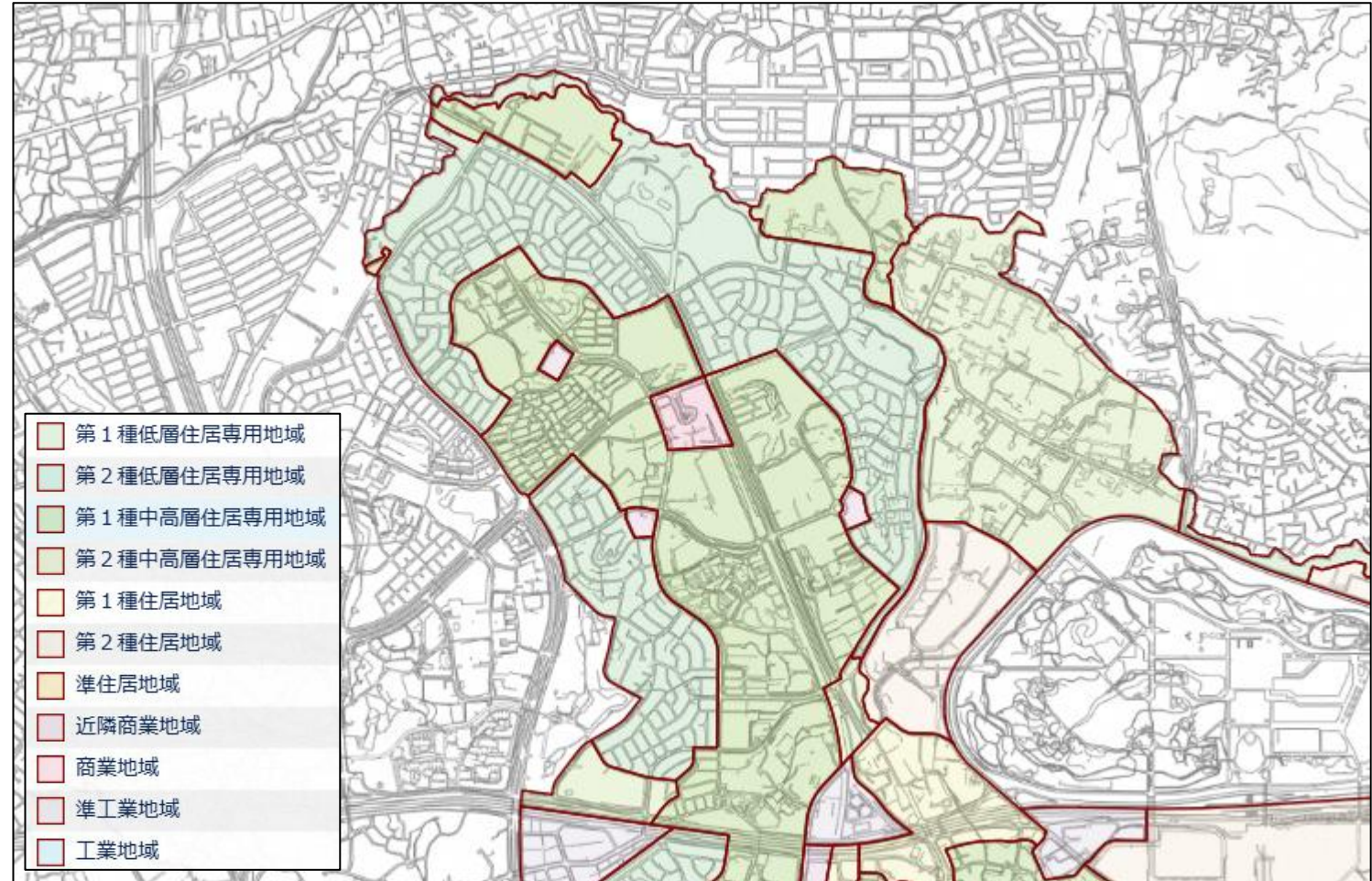
- 北千里駅前千里北地区センターは、千里ニュータウンの計画段階で、近隣住区論に基づき、青山台、藤白台、古江台の近隣3住区の住民の暮らしや、地域活動を支える「生活とコミュニティの拠点」として、都市計画法に基づく「一団地の住宅施設」により計画的に整備されました。
- 開設から50年以上が経過し、北千里駅が阪急千里線の終着駅であることや、時代の流れとともに近くに大学などが立地、市域を超えて民間等の住宅開発や社会経済活動が進むなど、千里北地区センターは開設当時の役割であった近隣3住区の住民のサービス施設である以上に、隣接市住民の通勤・通学といった生活を支える重要な交通結節点として機能しています。

■ 千里北地区センターの全景



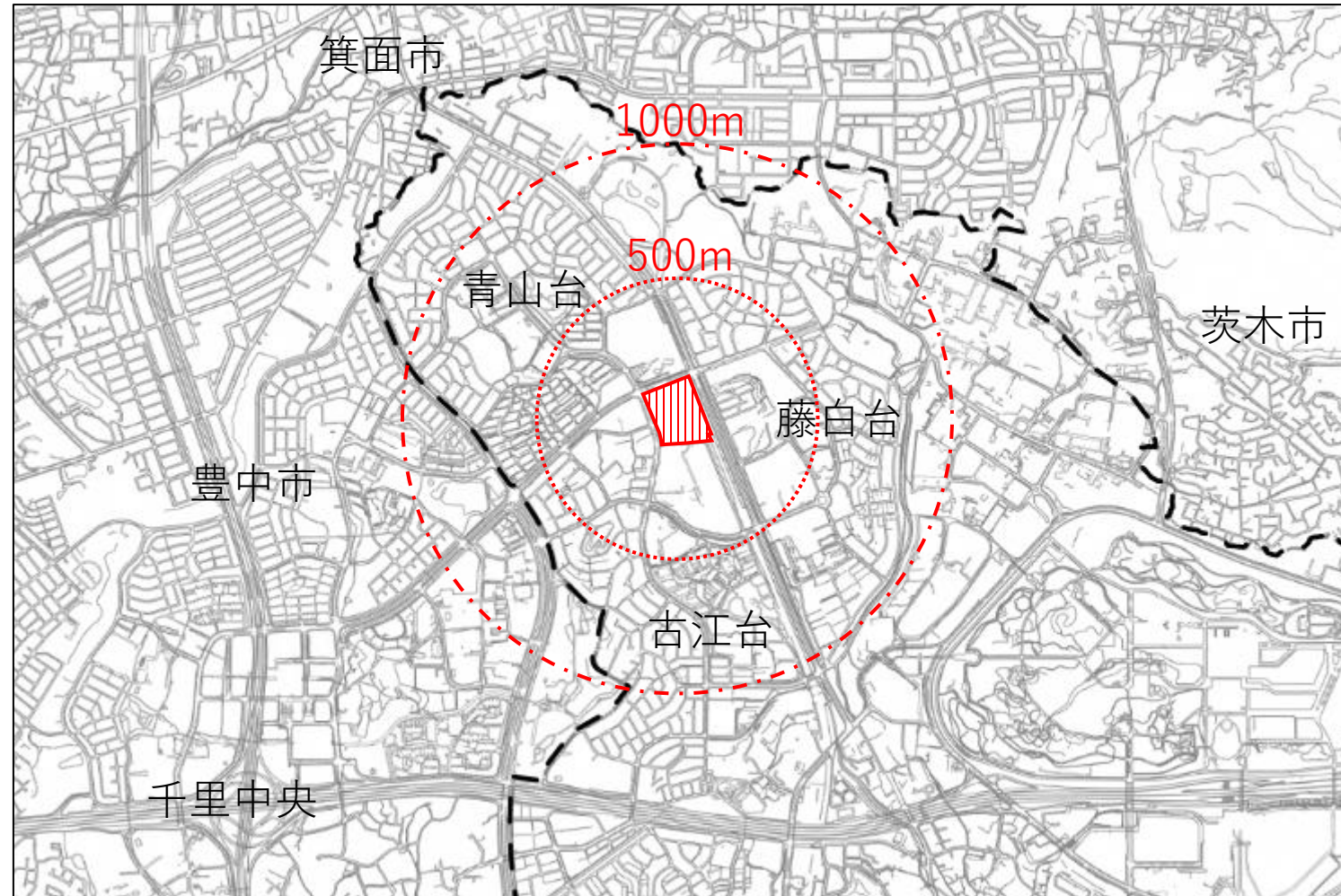
2 都市計画等の指定状況

| | |
|------|---|
| 用途地域 | 商業地域 |
| 容積率 | 400% |
| 建ぺい率 | 80% |
| 地域地区 | 45m第4種高度地区 防火地域 |
| 地区計画 | 千里ニュータウン地区 地区計画 |
| その他 | 一団地認定区域 (建築基準法第86条) 都市機能誘導区域 (立地適正化計画) |



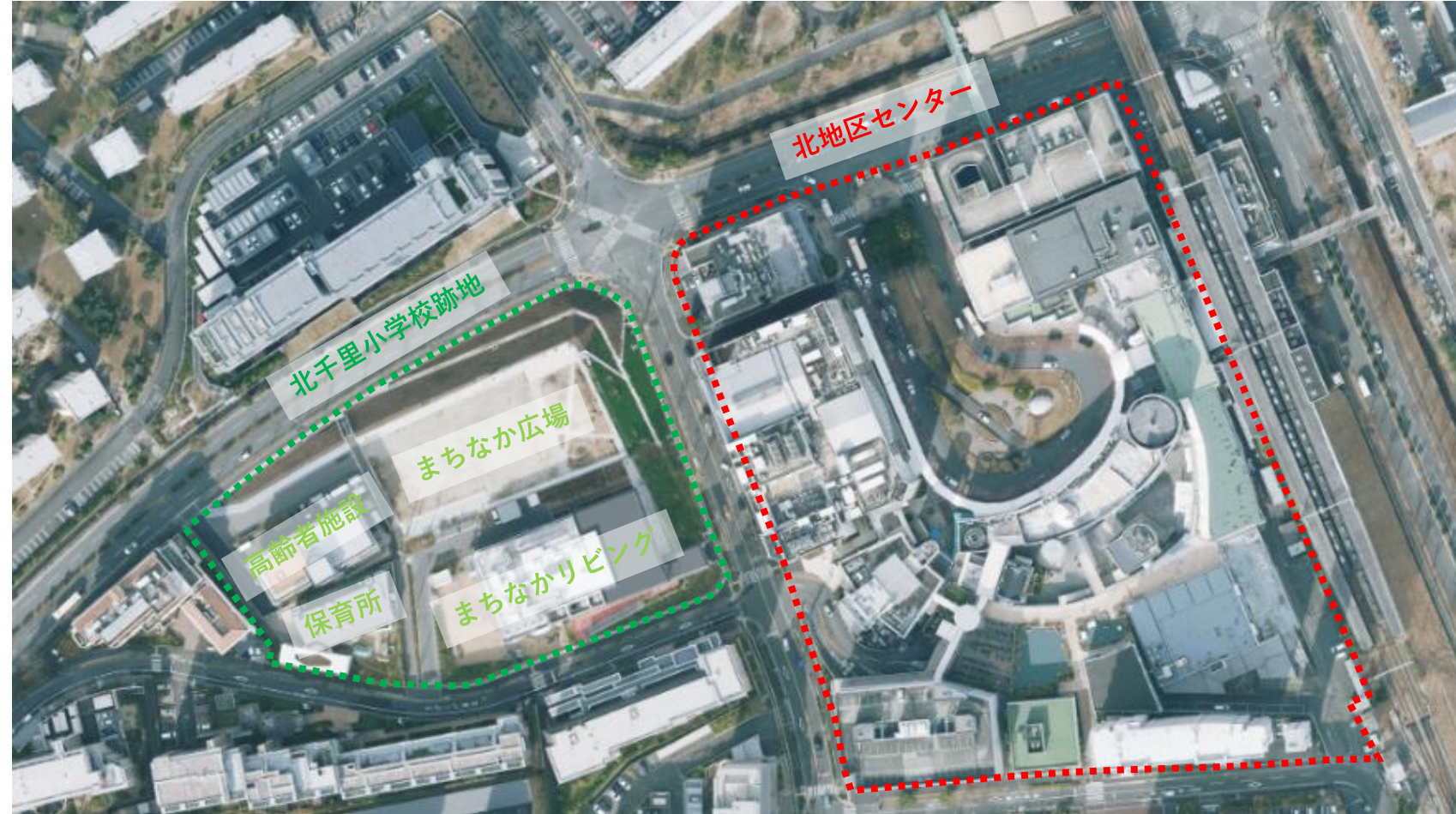
3 地区周辺の土地利用状況

- 北千里駅周辺では、大阪府営住宅等の建替えに伴う余剰地等における民間分譲住宅の立地が進行
- 国立循環器病研究センター跡地では、共同住宅、戸建住宅、店舗等の複合開発が進行
- 千里中央地区では、「千里中央地区活性化基本計画」を策定するなど、北部大阪の広域的な拠点に相応しいまちづくりに向けた官民連携の取組が進行中
- 北大阪急行電鉄が「箕面萱野駅」まで延伸（令和6年（2024年）3月）



3 地区周辺の土地利用状況

- 北千里小学校跡地において、北地区センターの機能のうち、図書館、公民館及び児童センターを一体的にまちなかりビング北千里として整備(令和4年10月開館)
- 民間の保育所及び高齢者施設を誘致 (令和4年4月開設)
- まちなか広場には学習塾や音楽教室、カフェなど、子育て世代を支援する施設を誘致(令和7年7月オープン)



4 地区の現状と課題

- 駅前ロータリーが中心にあり、自動車中心の配置による車優先の空間構成で、東西南北の歩行者動線の円滑性・利便性の向上が課題
- 歩行者動線が複雑であり、まちなかりング北千里など周辺街区へのアクセス性や回遊性の向上が必要
- バリアフリー法施行以前に整備されており、バリアフリー化が課題
- 施設の老朽化・陳腐化が進んでいる（開設から50年以上が経過）
- 生活スタイルの変化等に伴い、店舗の構成や種類、建物や店舗の配置などにおいて、現在の利用者ニーズと実態に乖離がある
- 現在の利用者のニーズに合った子育て支援機能や住民相互の交流機能が不足している



中心にある駅前ロータリー



周辺街区へのアクセス性等の向上が必要



動線が複雑・バリアフリーに課題



施設の老朽化・陳腐化

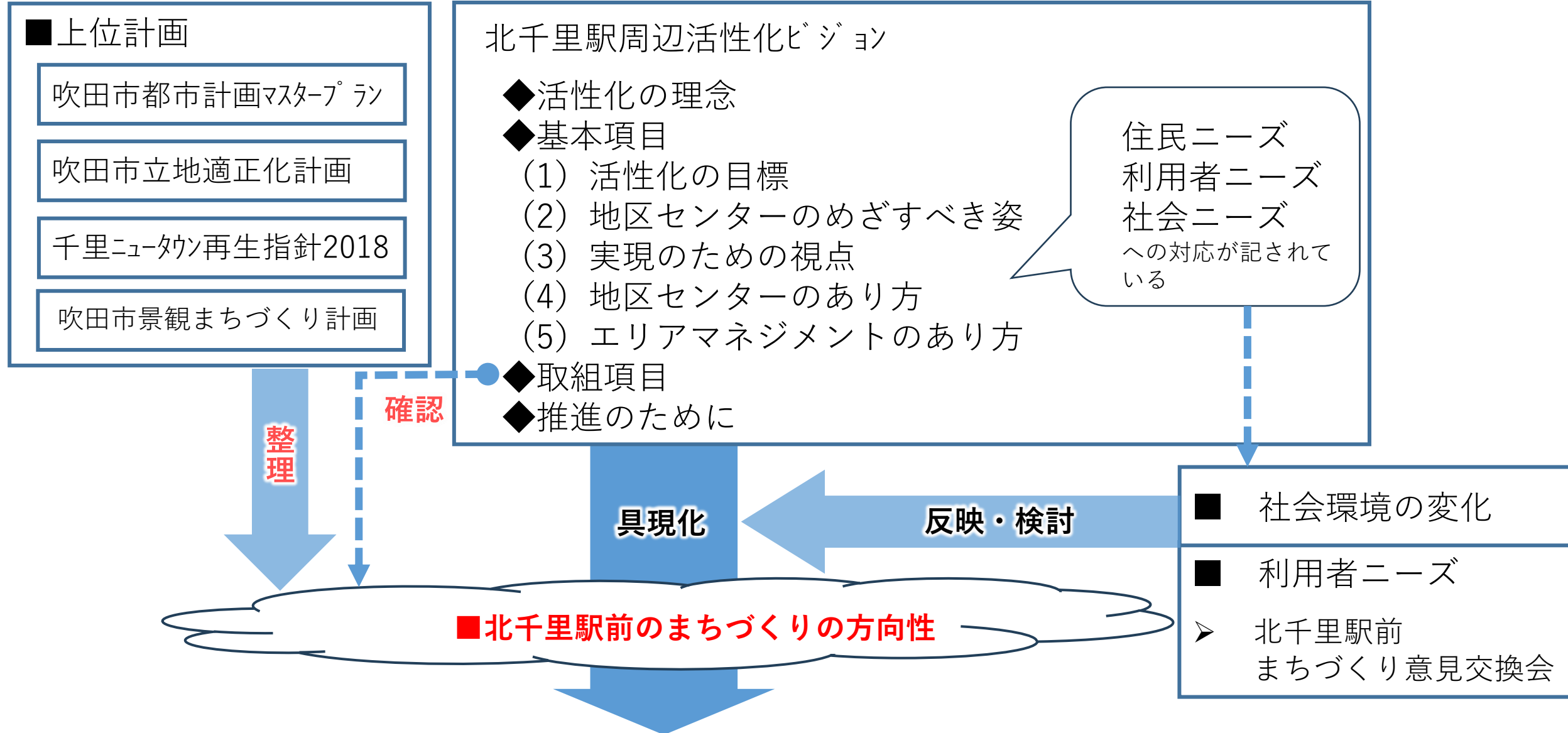
第2章

上位計画の位置づけ等

1 上位計画

- (1) 吹田市都市計画マスタープラン
- (2) 吹田市立地適正化計画 改定版
- (3) 千里ニュータウン再生指針 2018
- (4) 吹田市景観まちづくり計画
- (5) 北千里駅周辺活性化ビジョン

北千里駅前まちづくりの体系図



(1) 吹田市都市計画マスタープラン

- 土地利用誘導の方針

 - 商業業務系市街地

 - 各鉄道駅周辺では、近隣住民の生活を支援する商業・サービス機能の立地誘導など、それぞれの駅の立地特性に応じた誘導に努めます。

- 拠点市街地のまちづくり方針

 - 北千里駅周辺は、**地域住民や周辺大学の学生などのニーズに対応した商業・サービス機能が立地するにぎわいのある地域拠点の形成をめざします。**

(2) 吹田市立地適正化計画 改定版

<北千里・山田・南千里・桃山台区域>

■都市機能に関する特長と課題

◆子育て関連施設

0～5歳人口当たりの待機児童数が多い区域で、**保育所や認定こども園が不足**していると考えられます。

◆文化・教育、学術・研究施設

区域内に、千里金蘭大学が立地しており、多くの学生が通学しているとともに、**高度な学術・研究**を進めています。

区域内に**市民の交流を支えるコミュニティセンター等**が立地していますが、広い区域に対して南側に偏って立地しており、北側は**未整備**となっています。

(2) 吹田市立地適正化計画 改定版

■都市機能の誘導によりめざす方向

都市機能誘導により、子育て世代に対する支援機能を誘導するとともに、文化・教育、学術・研究機能も強化することにより、子育て世代が増加しつつある流れを維持し、多世代が集う千里ニュータウンの活性化を進めます。

■誘導施設

- 保育所・認定こども園〔60名以上〕
- 児童館
- 子育て支援施設
- 大学
- 図書館
- コミュニティセンター

(3) 千里ニュータウン再生指針2018

■再生の目標

「みんなで夢を育み 次代につなぐ 千里ニュータウン」

■めざすべき都市像

- 多様な世代が交わり、楽しめるまち
- みどり豊かで、健康に暮らせるまち
- 誰もが輝き、支えあうまち
- 持続発展する、イノベーションのまち
- 北大阪の核として、広域とつながるまち
- みんなで協働して、育むまち

(4) 吹田市景観まちづくり計画

■景観の将来像

「地域らしさと潤いにあふれ、次代に誇れる美しいまち」

■景観まちづくりの基本目標・基本方針（全市域）



それぞれの場所に適した景観まちづくりを進めるため
景観特性を整理し、景域ごとに景観まちづくり方針を示す

該当する景域

景域3 北千里駅界隈（当該地）

景域1 千里ニュータウン界隈（配慮すべき近隣の景域）

景域45 幹線道路・鉄道沿線（配慮すべき近隣の景域）

(4) 吹田市景観まちづくり計画

■景域3 北千里駅前界限

景観まちづくり方針

「駅前としてのにぎわいを形成し、周辺と調和した落ち着きのある景観をつくり、はぐくむ」

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 統一感をもたせた千里ニュータウンらしい街路樹による緑化に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる駅前の景観づくりに努める。 . . . など

「調和と個性のある景観」をまもり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりのある景観の形成を図る。
- 壁面の高さ、色彩を周辺と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてのにぎわいの中にも落ち着きのある景観の形成を図る。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えられるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。 . . . など

(4) 吹田市景観まちづくり計画

■景域1 千里ニュータウン界隈

景観まちづくり方針 「緑豊かな環境の保全と良好な住宅地景観をまもり、はぐくむ」

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

○護岸や橋のデザインを工夫する。

・・・など

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

○地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める

・・・など

「調和と個性のある景観」をまもり、はぐくむ

○眺望の対象となる、自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。

・・・など

■景域45 幹線道路・鉄道沿線

景観まちづくり方針 「市内外を結ぶ幹線道路や鉄道における多彩な沿道・沿線景観」

「調和と個性のある景観」をまもり、はぐくむ

【沿道住宅地（沿道緑保全型）】

○歩道橋などの色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。

【鉄道・モノレール】

○高架橋やデッキ、跨線橋などの色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。

○周囲に調和する広告物の色や形を工夫するとともに、沿線の並木などの緑を保全するなど、車窓からのシークエンス景観に配慮する。・・・など

(5) 北千里駅周辺活性化ビジョン

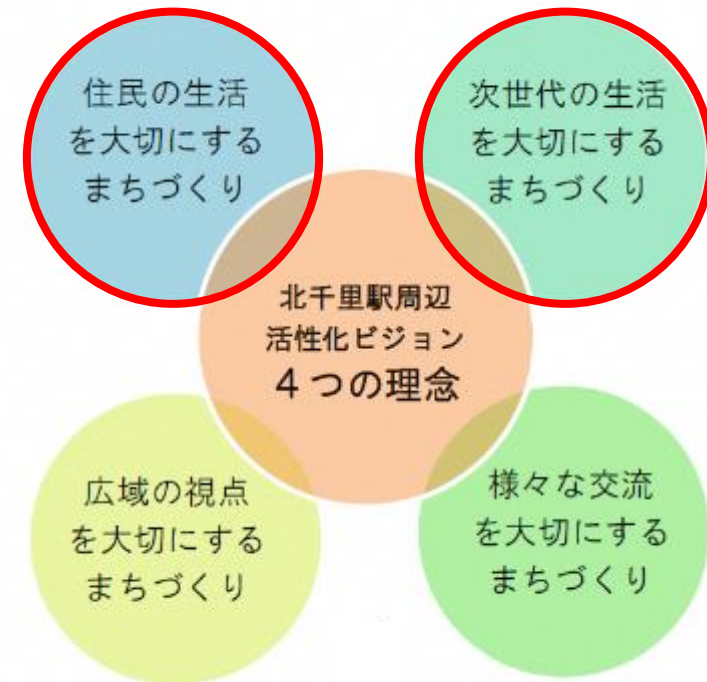
北千里駅周辺活性化の理念

■ 住民の生活を大切にするまちづくり

まちびらきから50年近くを経過した北千里は、まちびらきの頃から入居した世代や、その子ども世代、さらに孫の世代まで暮らす成熟したまちとなりました。これまで北千里で暮らしてきた住民が、これからも安心して、愛着をもって、**北千里に暮らしたいと思うまち**としていくことを重視します。

■ 次世代の生活を大切にするまちづくり

北千里が、これからも活気のあるまちであり続けるためには、将来まちを担う、**若い世代にとって魅力的なまち**であることも重要です。そのため、新しい生活環境を求める若い世代が魅力を感じ、**安心して子育てができるようなまち**としていくことを重視します。



(5) 北千里駅周辺活性化ビジョン

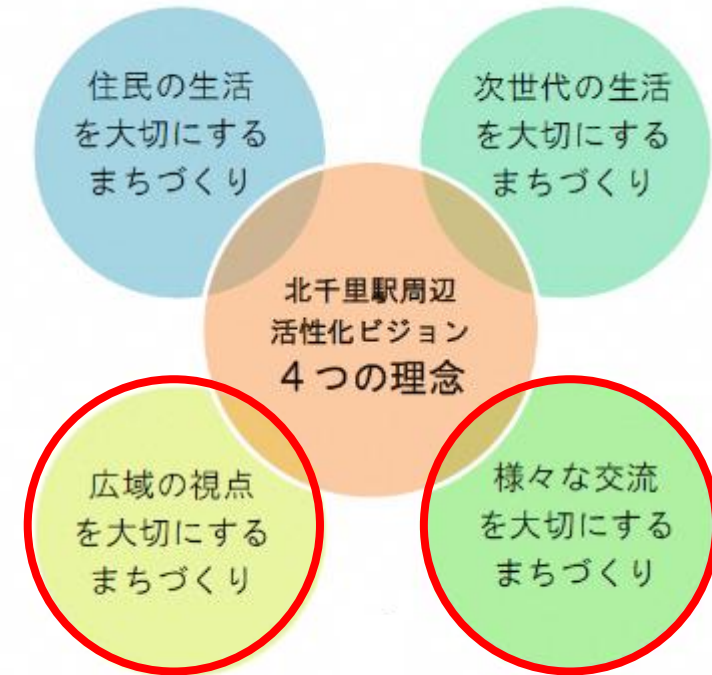
北千里駅周辺活性化の理念

■広域の視点を大切にするまちづくり

千里北地区センターは、近隣住区論の考え方に沿い、近隣の3住区を核として位置付けられてきましたが、現在は、まちの発展とともに北千里駅を利用する**周辺地域や大学等、近隣の3住区を超える広域の人々**からも利用されています。そのため、北千里駅の駅勢圏の範囲を基本とした**地域拠点のまち**としていくことを重視します。

■様々な交流を大切にするまちづくり

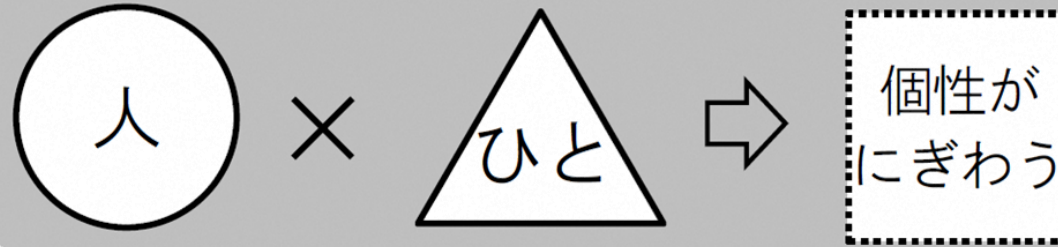
千里北地区センターは、公共交通の利用のほか、買い物や生涯学習、地域活動など、様々な目的をもった人が交流しています。このような様々な交流を大切にし、**さらに新しい交流が生まれるまち**としていくことを重視します。



(5) 北千里駅周辺活性化ビジョン

活性化の目標

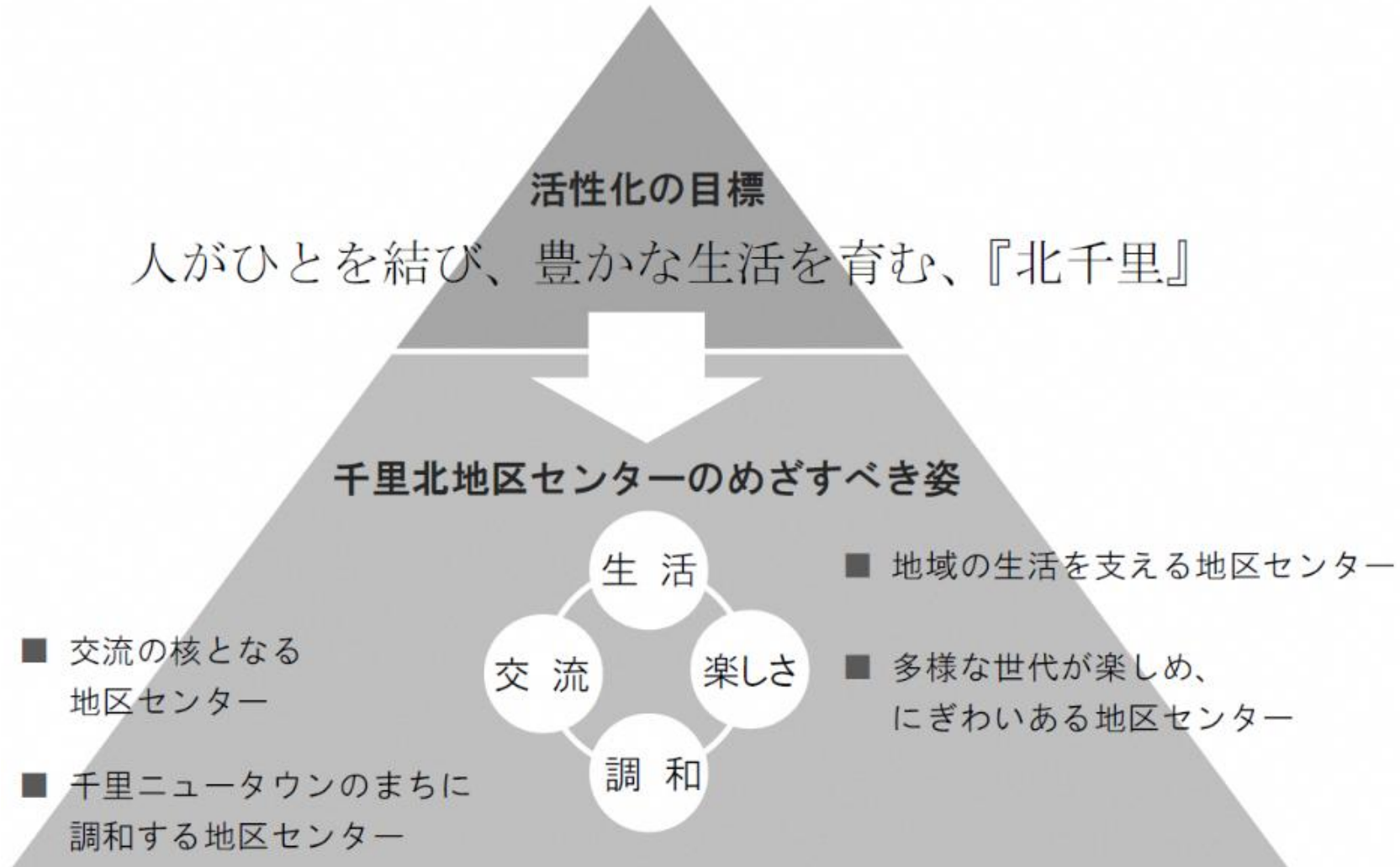
人がひとを結び、豊かな
生活を育む、『北千里』



千里北地区センターの強みを生かして、多様な人のつながりを意識的に
つくっていくことを行政、事業者、市民が共有するための活性化の目標

(5) 北千里駅周辺活性化ビジョン

千里北地区センターのめざすべき姿



(5) 北千里駅周辺活性化ビジョン

千里北地区センターの活性化に向けた取組項目における対応方策

北千里駅周辺活性化ビジョンでは、千里北地区センターの活性化に向けた取組項目が示されています。

各取組項目について別紙の対応方策により、千里北地区センターのめざすべき姿の実現を目指します。

2 社会環境の変化

- 量的・機能的な満足から、質的・個々の価値観重視や**ウェルビーイング**への希求などの**暮らし方に対する価値観の変化、ライフスタイルの多様化**
- 地域コミュニティが希薄化するなか、地域連携必要性の再認識やテーマ型でのつながり等の**地域コミュニティのあり方の模索・再定義**
- 世帯構成、家族観、住まいの価値観の多様化に対応した**多様な居住スタイルや利便性の高い住居へのニーズの高まり**（エリアとして多様な住居ニーズ対応の必要性）
- 少子高齢化の進展に加え**共働き世帯**の増加、**子育て環境**の重要性の更なる高まり
- 交通結節“点”や周辺施設を個別にとらえるのではなく、駅・駅前広場・周辺市街地を「**駅まち空間**」として一体的に捉え、**魅力ある都市空間創出**への取り組み
- まちなかを”人中心”の空間へ再構築する**ウォークラブルなまちづくり**の進展

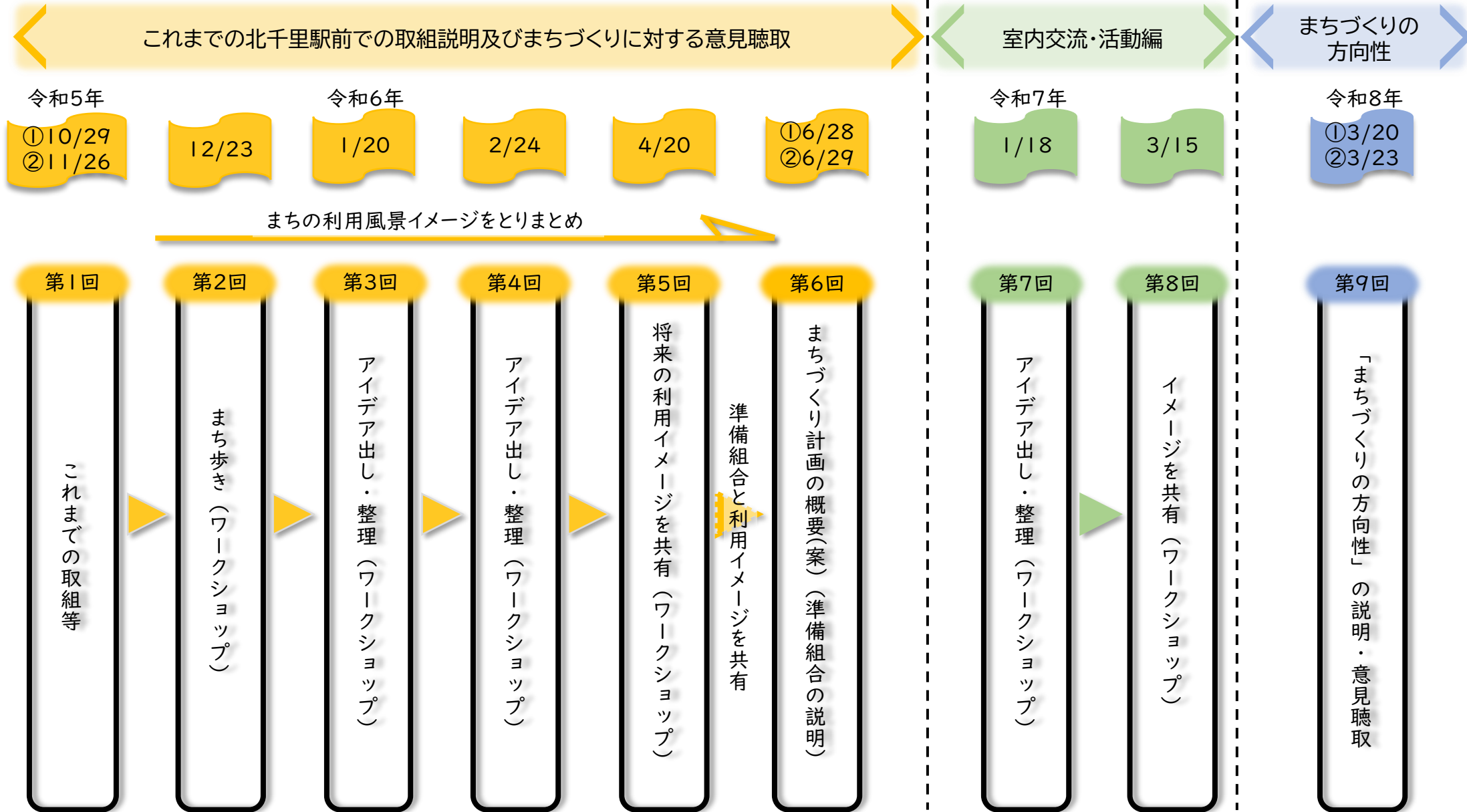
第3章

利用者ニーズ

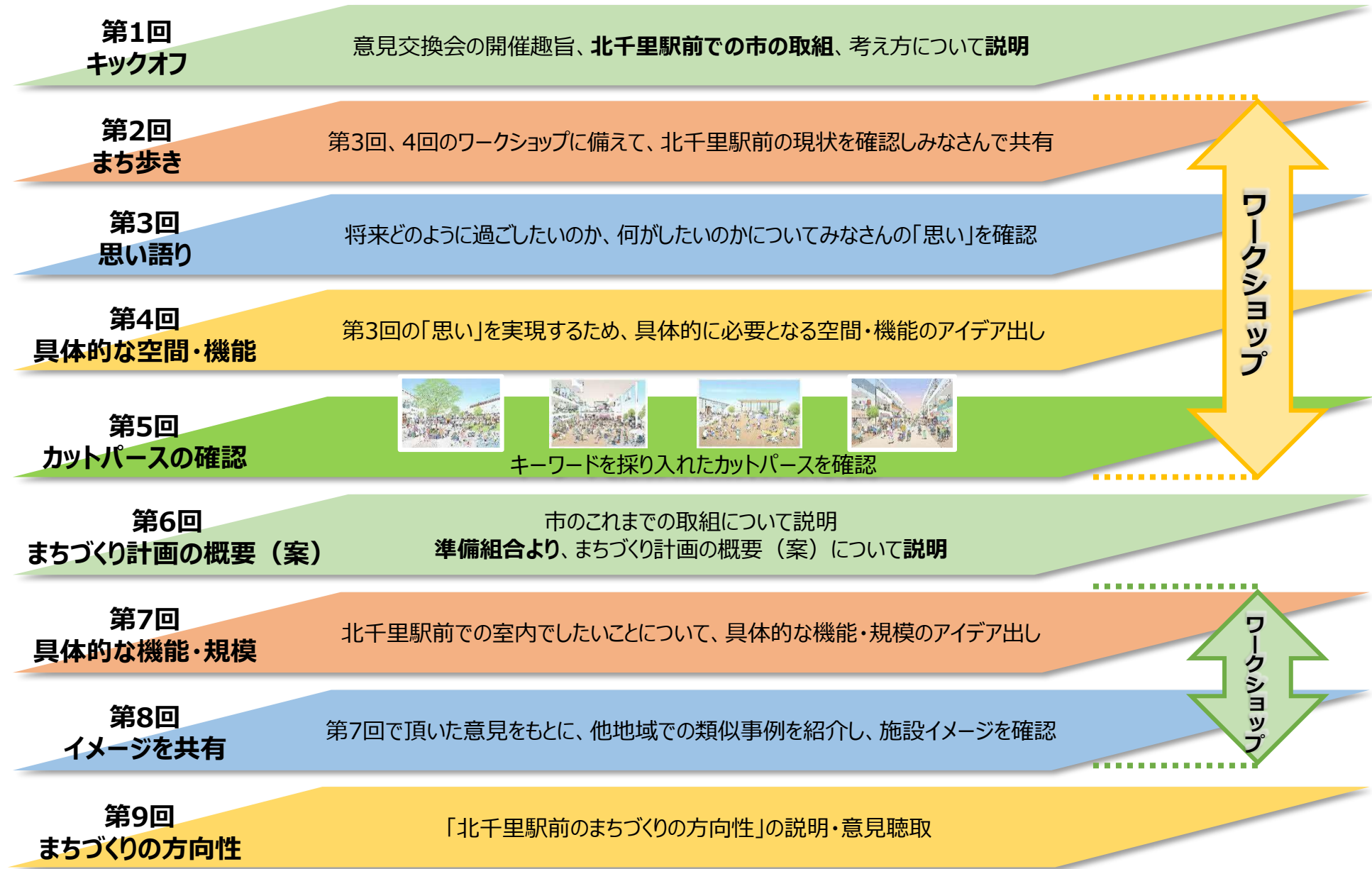
1 北千里駅前まちづくり意見交換会の概要

- 平成28年（2016年）4月に、行政や市民の将来像の共有のため、市民、学識経験者、商業者からご意見を頂き、まちづくりの道しるべとなる「北千里駅前周辺活性化ビジョン」を策定しました。
- その後、ビジョンの具現化に向け、千里北地区センターの課題に対応した再整備の手法の検討や、地権者の合意形成などに取り組むとともに、令和5年（2023年）10月から令和7年（2025年）3月にかけて、「北千里駅前まちづくり意見交換会」において、ワークショップを実施し、まちの利用風景イメージを「カットパース」として取りまとめるなど、地域住民等と市が協働して将来の北千里駅前のあり方について検討を進めてきました。

北千里駅前まちづくり意見交換会



■北千里駅前まちづくり意見交換会による利用者ニーズの把握



■ 北千里駅前まちづくり意見交換会の様子



令和5年10月 第1-①回 65名
令和5年11月 第1-②回 39名



令和5年12月 第2回 37名



令和6年 1月 第3回 35名



令和6年 2月 第4回 42名

北千里駅前まちづくり意見交換会 第1回～第8回 延べ参加者 426名



令和6年 4月 第5回 40名



令和6年 6月 第6-①回 66名
令和6年 6月 第6-②回 45名

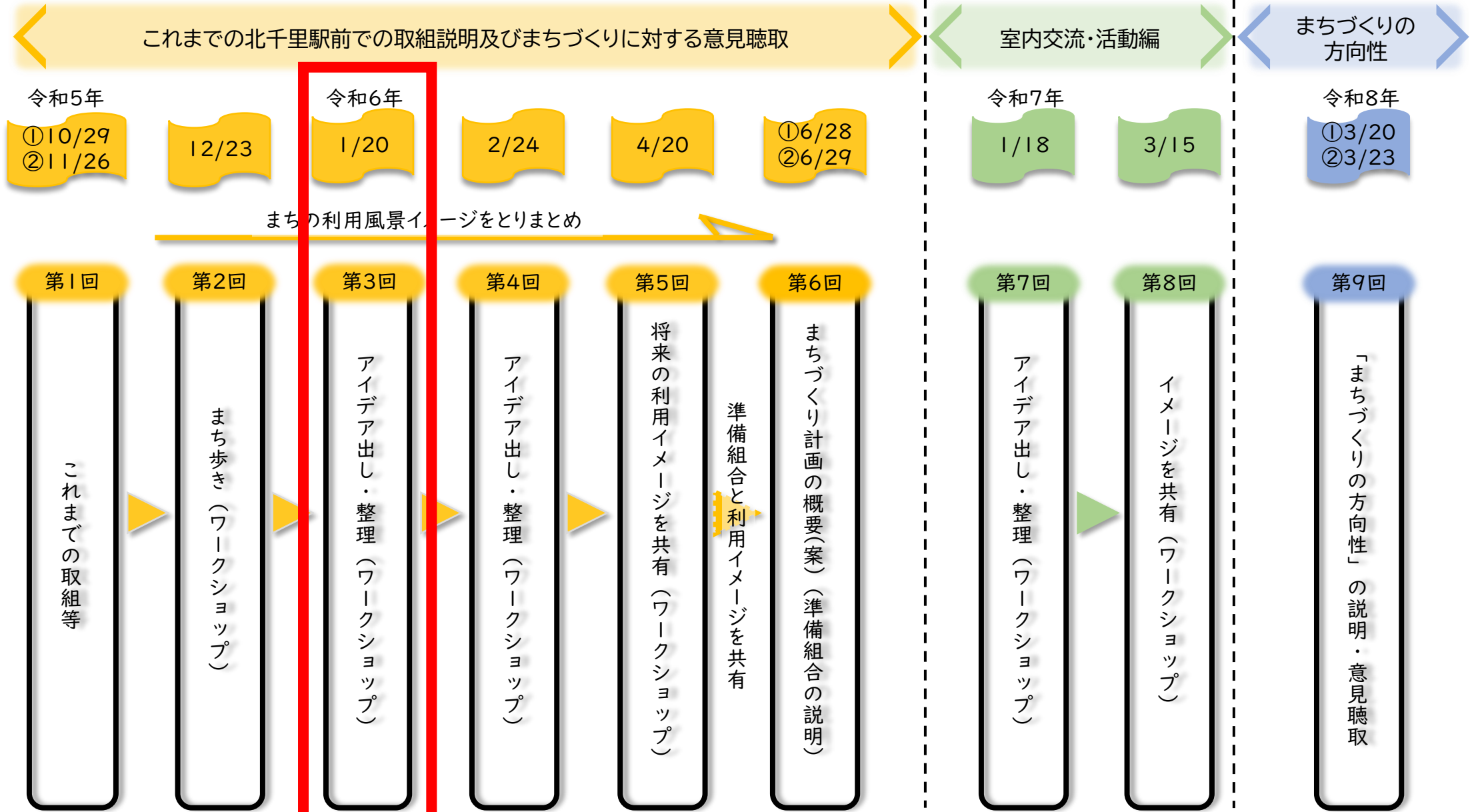


令和7年 1月 第7回 37名



令和7年 3月 第8回 20名

■ 主な意見

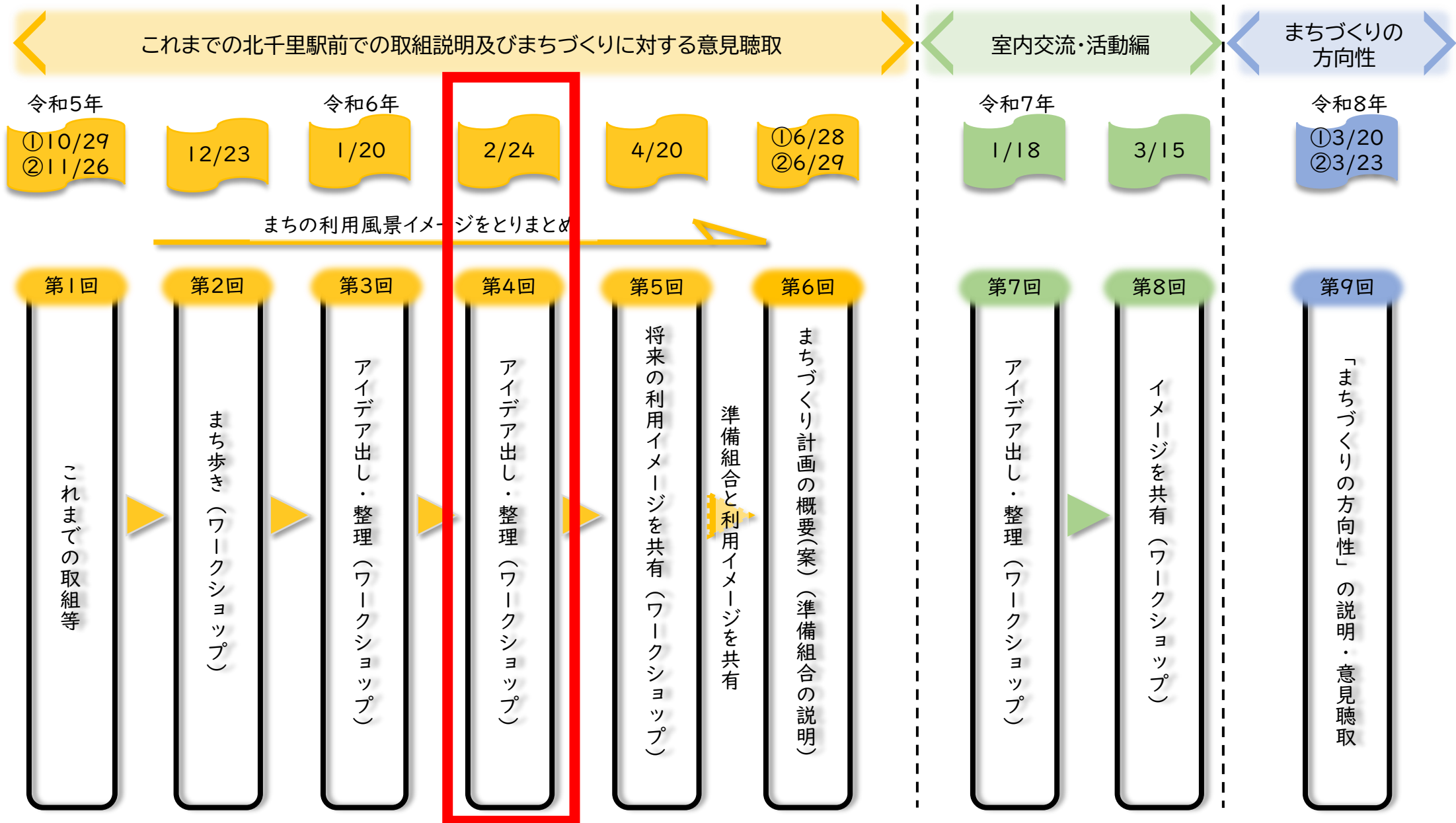


■ ワークショップで出たキーワード

(第3回テーマ：千里北地区センターでどのように過ごしたいか)

- イベントスペース・ステージ・ホール
- 多目的ルーム・スタジオ
- フードコート・レストラン・カフェ・産直市
- スーパー・日常買い物・子供用品の店舗
- 広場・公園・休憩所・芝生・子どもが遊べるスペース
- 防災拠点
- 保育所・子育てスペース
- コワーキングスペース・シェアオフィス
- 国際・多世代交流
- アートギャラリー
- 医療
- 習い事

北千里駅前まちづくり意見交換会



■ ワークショップで出た主な意見

(第4回テーマ：どのようなもの(場所・空間)が必要か)

| | | ① | ② | ③ |
|--|----|---------------------------|---------------|-------------------|
|  各班の意見ベスト3 | 1班 | 多世代交流施設 | ステージ機能 | 全天候型飲食店 災害対応施設 |
| | 2班 | 屋根付き イベント広場 | 多様な飲食 | 効率的な 交通広場 |
| | 3班 | 保育園・子ども園 | 音響の良い 中ホール | 広場、歩道橋 カフェ |
| | 4班 | 全天候型広場 音響装置完備の 小ホール | 学童、保育機能 | 日用品等 多様な買物施設 |

■ ワークショップでとりまとめた「将来のまちの利用風景イメージ」

広場や屋内施設での市民の
活動・憩い



様々な飲食店や日用品の集まる屋内の
店舗、活動・交流など



歩車分離がなされた駅前での
多様な活動など



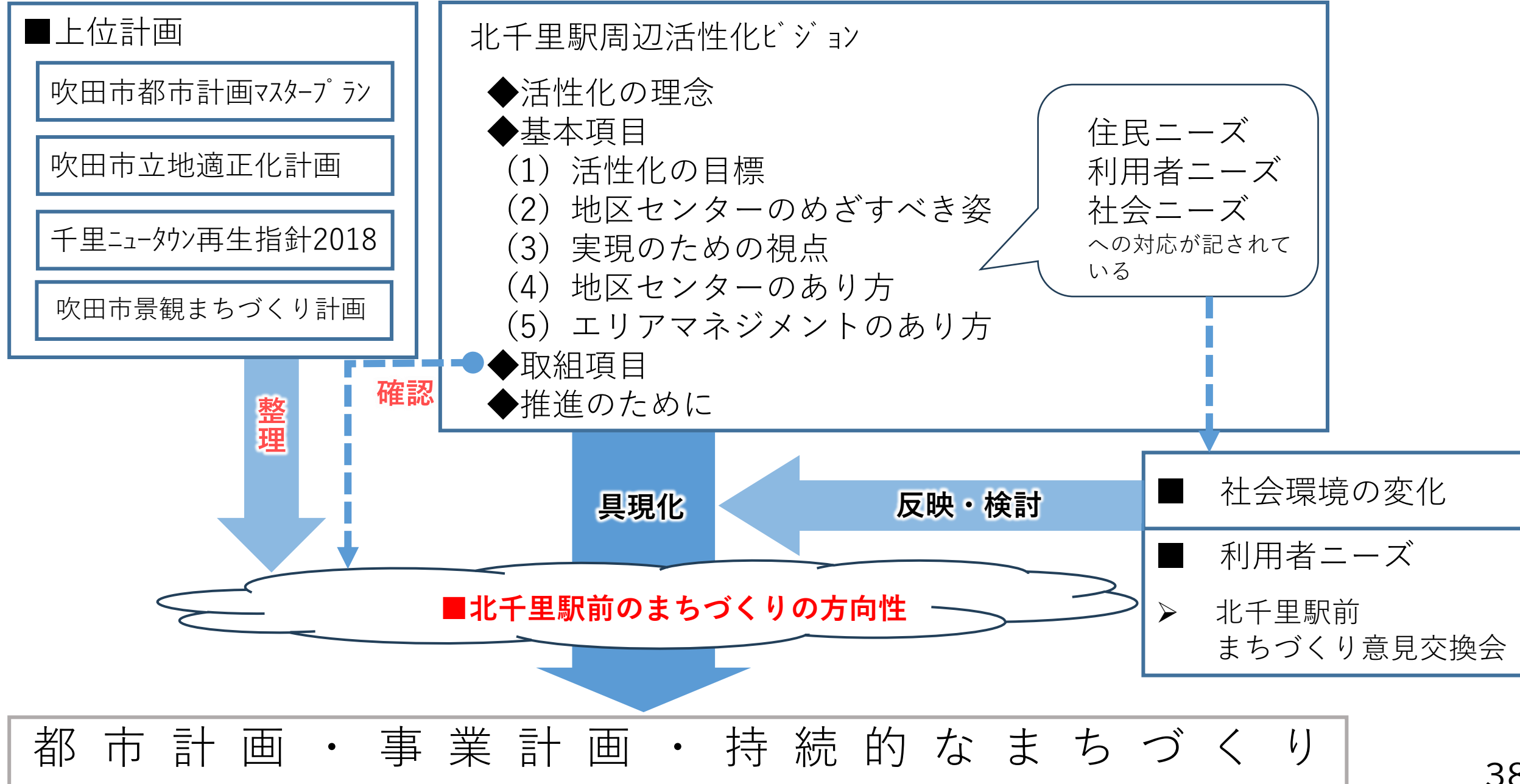
様々なイベントに対応した屋根付き広
場や地元ニーズに応える店舗など



第4章

北千里駅前 まちづくりの方向性

北千里駅前まちづくりの体系図



2 北千里駅前まちづくりの方向性

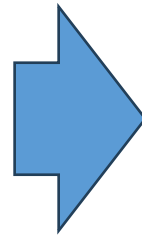
- 地区の課題を解決し、「北千里駅周辺活性化ビジョン」をはじめとする上位計画及び北千里駅前まちづくり意見交換会で確認した利用者ニーズを踏まえ、みんなが来やすく、人が居心地よく過ごせて、多様なアクティビティ・居場所があり、賑わい・交流・子育て支援機能のある拠点となるよう、北千里駅前における『**人が中心のまちづくり**』の実現を目指します。
- 土地利用・建物の**更新性を高め**、合わせて**防災機能の強化**を図るなど、**持続可能性を有する**まちづくりを目指します。
- **歩行者空間や広場**を確保するなど、**緑豊かでゆとりと一体感のある景観**を形成するとともに、**ターミナルにふさわしい駅前空間**の創出を目指します。

3 まちづくりの実現に向けた方策

【実現に向けた方策】

【現状】

- 駅前ロータリーが中心にあり、自動車中心の配置による車優先の空間構成で、東西南北の歩行者動線の円滑性・利便性の向上が課題
- 歩行者動線が複雑であり、まちなかりビング北千里など周辺施設へのアクセス性や回遊性の向上が必要
- バリアフリー法施行前に整備されており、バリアフリー化が課題

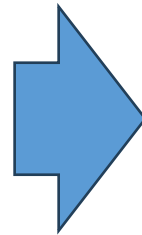


- 駅前交通広場の再整備や歩行者動線の確保により、**人が中心となった街区・都市構造への再編**によるゆとりある駅前空間・まちの顔となる駅前景観を創出
- 広場や歩行者通路等の歩行者動線を整備することで、バリアフリーに対応した人にやさしい**快適・便利な歩行者ネットワークの形成**を図り、地区センター内及び周辺施設へのアクセス性や回遊性を向上、**東西南北・周辺とのつながりを強化**

3 まちづくりの実現に向けた方策

【現状】

- 施設の老朽化・陳腐化が進んでいる
(開設から50年以上が経過)
- 生活スタイルの変化等に伴い、店舗の構成や種類、建物や店舗の配置などにおいて、現在の利用者ニーズと実態に乖離がある



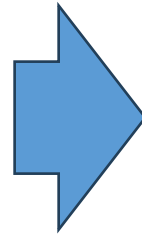
【実現に向けた方策】

- 駅前広場をはじめとする公共施設や公益施設を含む施設建築物を一体的に整備し、地区センターとして必要となる商業・サービス機能や公共公益機能を担保しつつ、現在の**利用者ニーズに対応した都市機能の導入**を図ります

3 まちづくりの実現に向けた方策

【現状】

- 現在の利用者のニーズに合った子育て支援機能や住民相互の交流機能が不足している



【実現に向けた方策】

- 施設建築物と一体的に子育て支援や交流機能を発揮するような広場整備を誘導するなど、こどもの居場所や住民等の交流に資する**新たな機能導入による交流・子育て支援機能を充実**します。
- **回遊性向上**などにより、地区センター内はもとより、まちなかりビング北千里を含む複合住宅地区との**都市機能の連携**を図ります。

3 まちづくりの実現に向けた方策

北千里駅前のまちづくりの方向性

人が中心のまちづくり、賑わい・交流・子育て支援機能、持続可能性・更新性・防災性、
緑豊かでゆとりと一体感のある景観、ターミナルにふさわしい駅前空間

↓
方向性の実現にむけた現状を踏まえた方策の設定

現状を踏まえ実現に向けた主な方策

人が中心となった街区・都市構造への再編 ゆとりある駅前空間・まちの顔となる駅前景観の創出

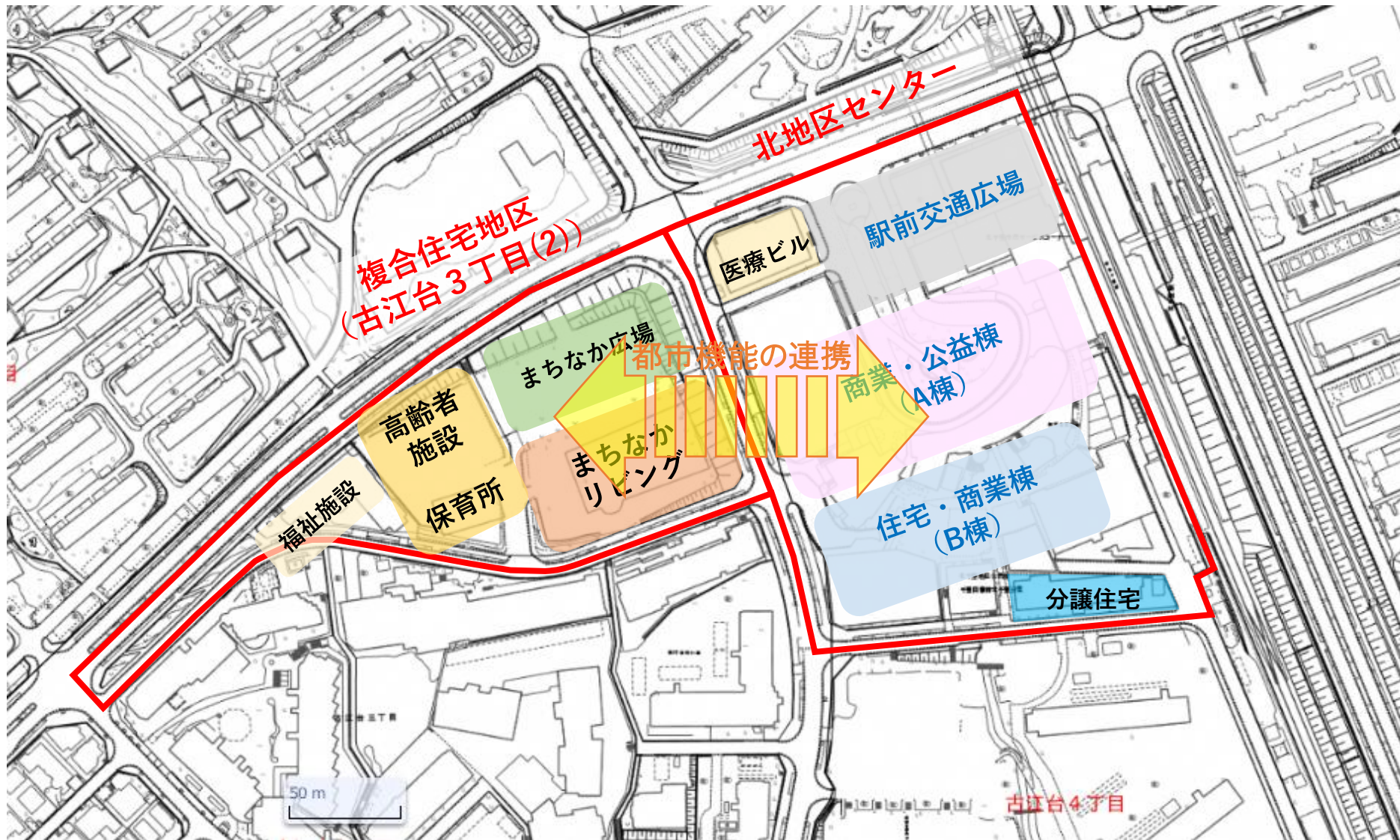
利用者のニーズにあった都市機能の導入 東西南北・周辺とのつながりの強化

交流・子育て支援の機能を充実 快適・便利な歩行者ネットワークの形成

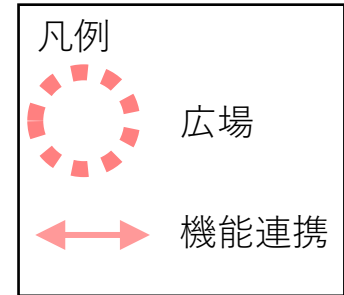
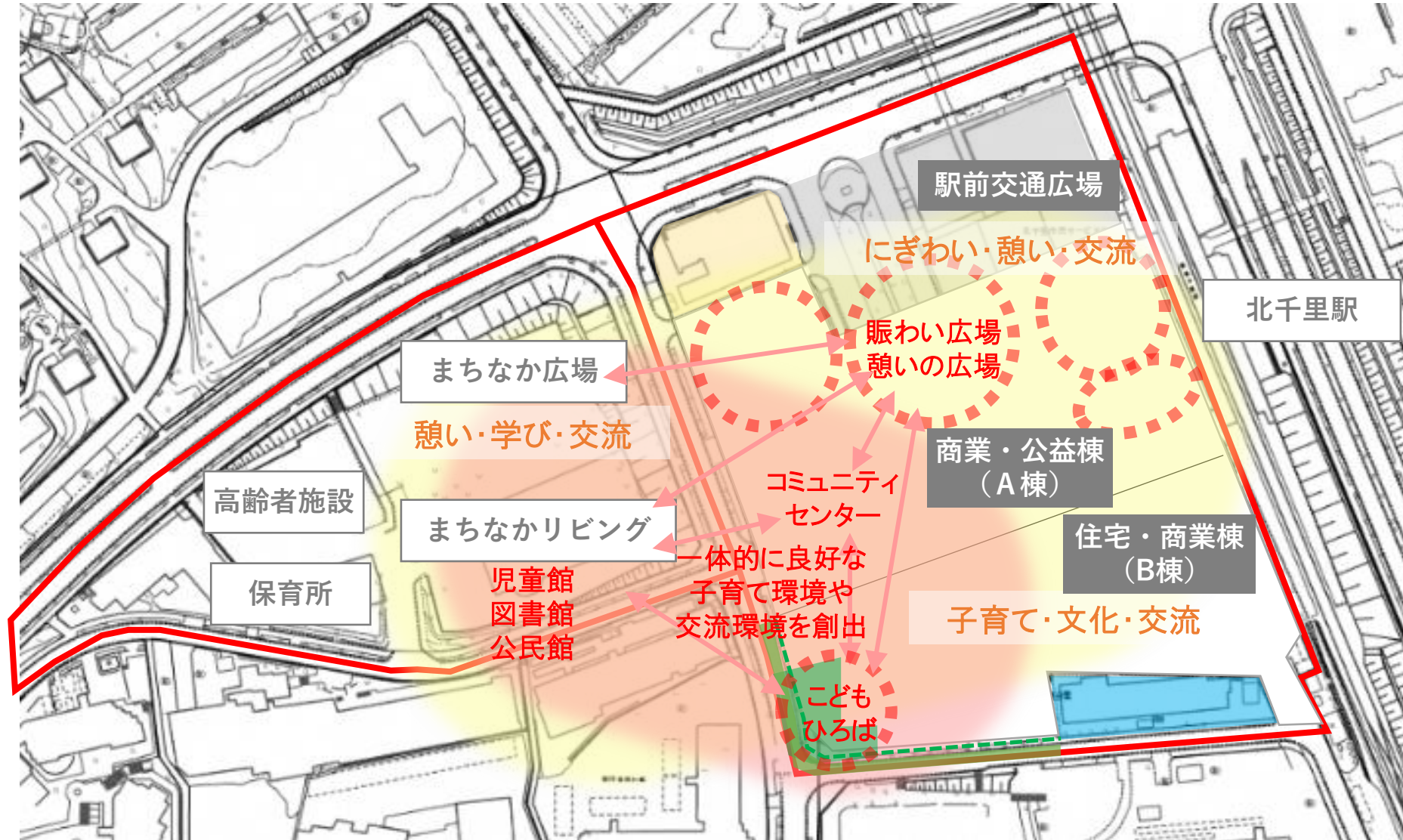
↓
複合住宅地区におけるまちなかりビング等の整備状況といった実態も考慮

方向性実現・方策実行のために北地区センター及び複合住宅地区における都市機能や各施設の連携・分担を図った一体での駅前空間計画の考え方を設定

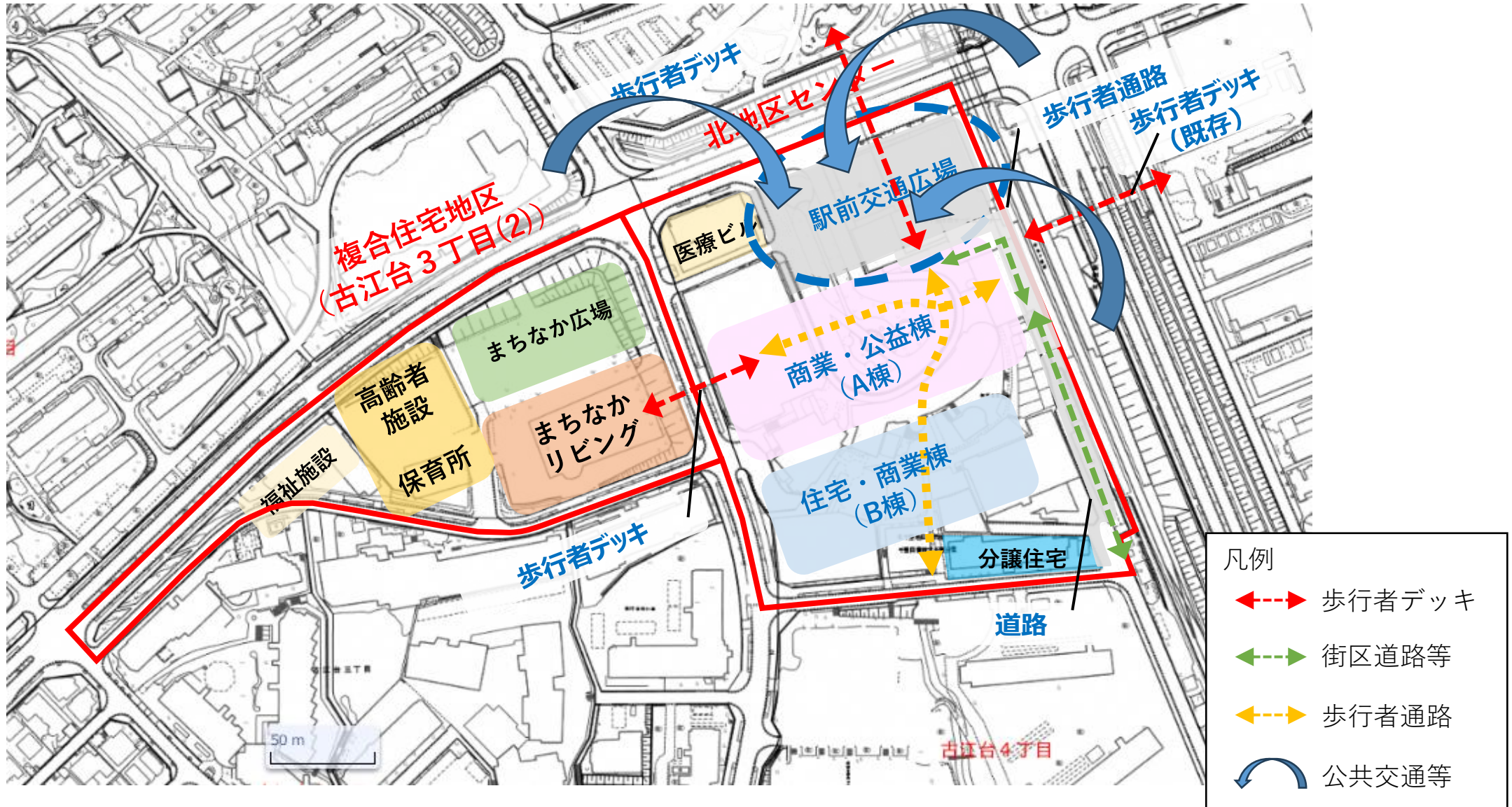
■ 計画概要図 (全体)



■計画概要図（子育て・交流機能）



交通結節機能

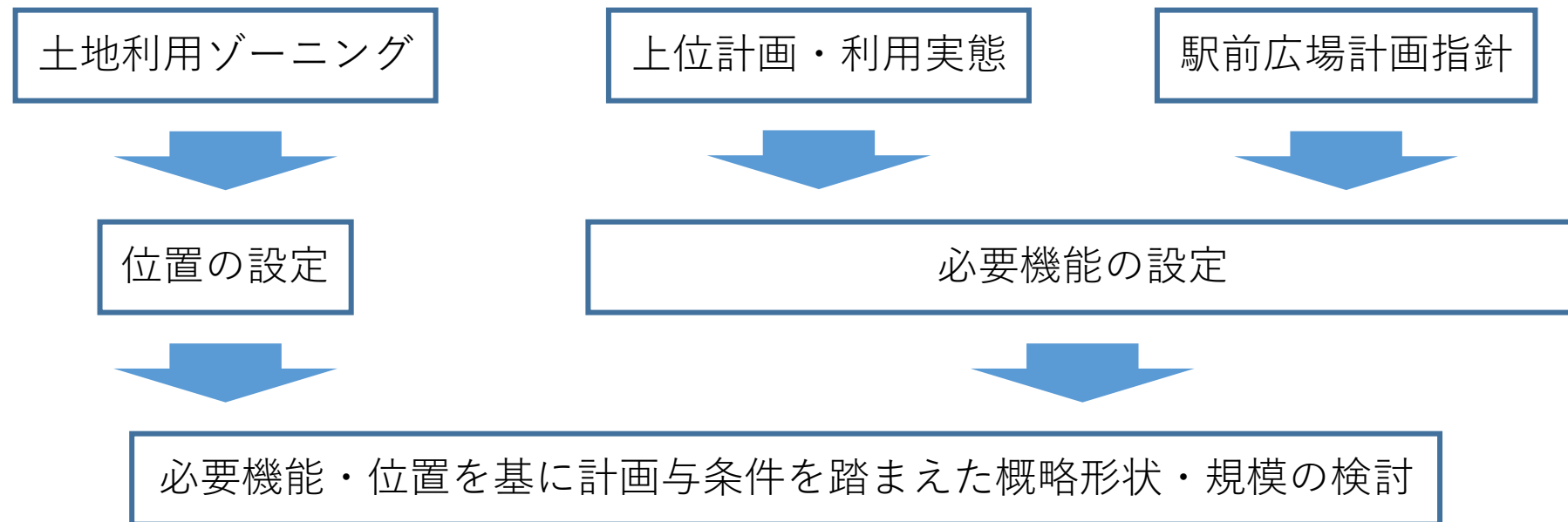


■ 交通結節機能

- 人が中心の地区センターを目指し、交通結節機能の維持・向上を図りつつ、都市の玄関口として駅前にふさわしい景観形成を図るため、また、既存の道路交通への影響（駅前交通広場への車両経路）も考慮し、千里3号線と北千里駅及び整備予定の地区施設（広場・通路）と一体的に敷地北側に**駅前交通広場**を配置します。
- 駅前交通広場及び北千里駅による交通結節機能と一体的に**歩行者専用通路（道路・地区施設）**を配置するとともに、隣接街区とのつながりについては高低差が大きい立地特性を考慮して歩行者デッキの整備も行うことで、北千里駅前の利便性・回遊性向上に資する交通広場・北千里駅と歩行者ネットワークが一体となった、**人が中心の交通結節点を形成**します。
- 現在、地区センター内にある自転車駐車場については、地区センター外にある北千里駅前自転車駐車場と一体的に、引き続きその交通結節機能の維持しつつ、北千里駅や商業・公益機能とのアクセス性を考慮のうえ再配置を行います。

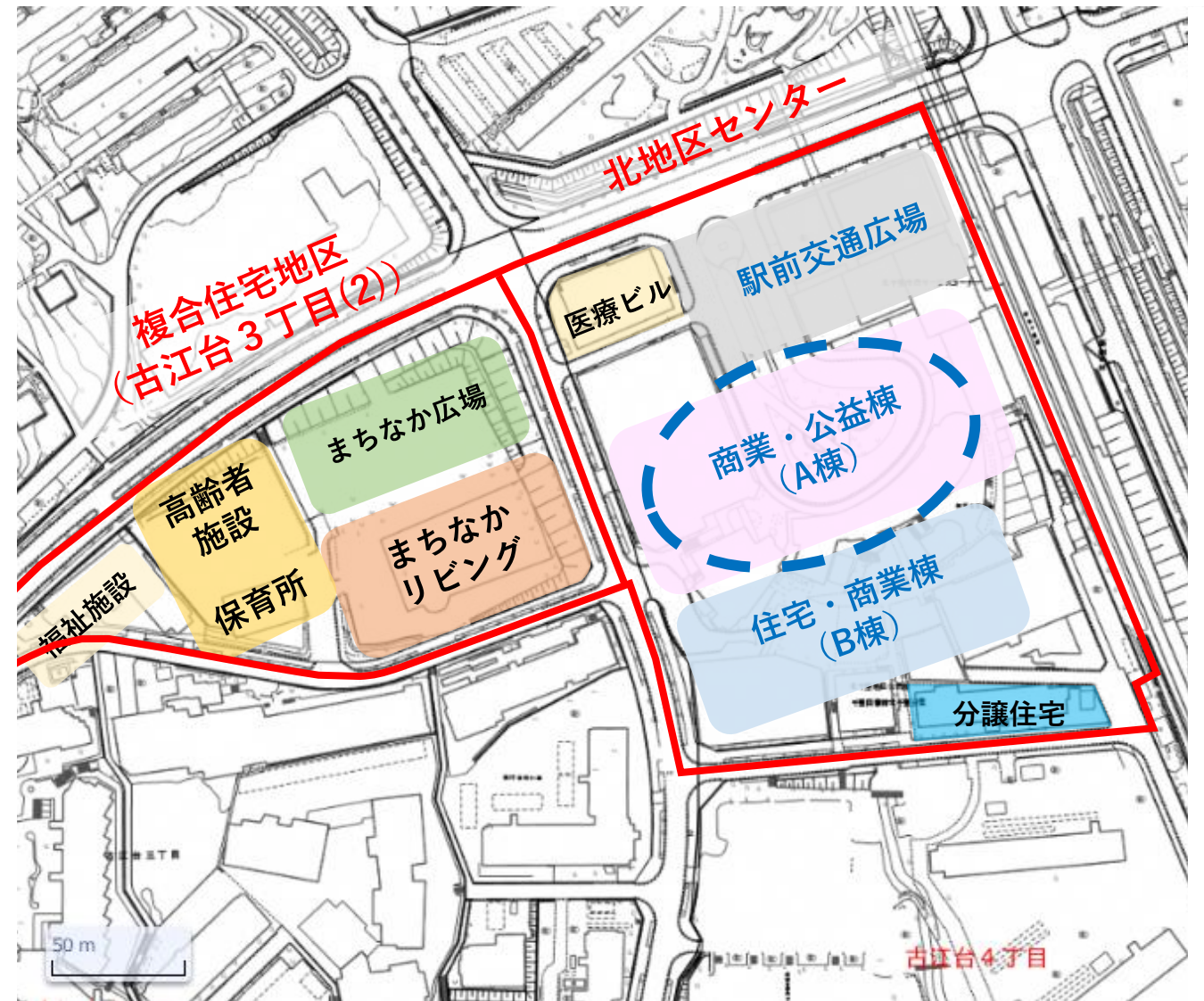
■ 駅前交通広場の形状・規模

- 人を中心としたまちづくりを目指した土地利用の考え方を踏まえて、駅前交通広場の位置を設定します。
- 上位計画や現状のバス利用実態、「駅前広場計画指針」による算定内容を踏まえて、必要機能を設定します。
- 位置・必要機能を基に地形地物や計画与条件を踏まえて、駅前交通広場の概略形状・規模を検討します。



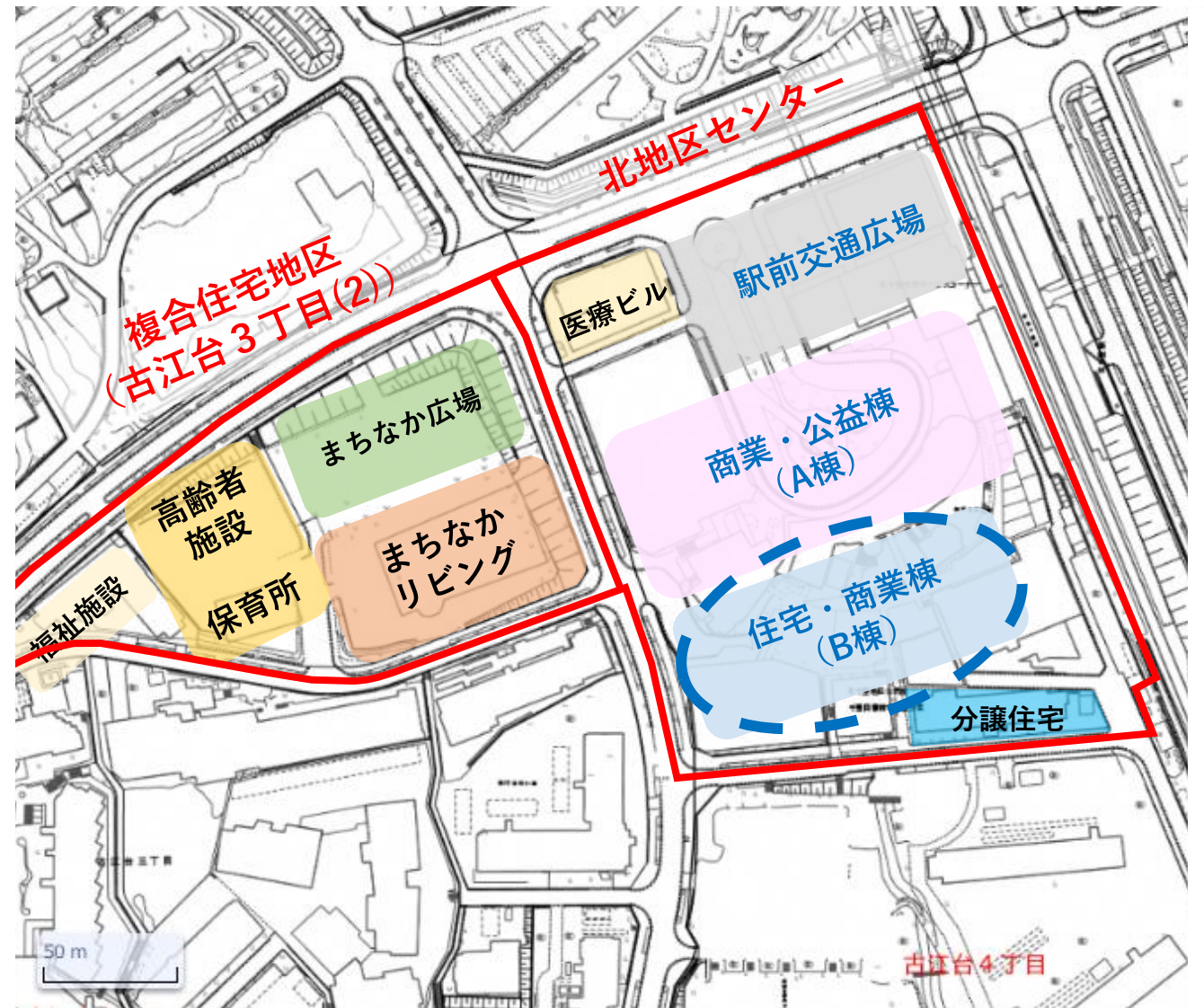
■ 商業・公益棟（A棟）

- 近隣住区論に基づく地区センターの機能の継承として、利用者ニーズに対応した、**商業・サービス機能**や**公共公益機能**を配置します。
- 人を中心とした地区センターに再生するため、駅とつながる区域の中央部に配置します。
- 駅前には、様々なイベントに対応した全天候型の**賑わい広場**を配置するとともに、屋上には**憩いの広場**など、地域活動の場や交流拠点となる多様な広場を配置します。



■ 住宅・商業棟（B棟）

- 商業・公益棟（A棟）との連携を図り、地区センターとして必要となる都市機能を誘導することにより、住宅機能も含めた地区センターとしてふさわしい土地利用を図ります。
- 駅からの距離や土地の高低差、交通動線等を勘案したうえで、地区センターの機能を阻害することがない形で住機能を配置します。
- 低層部に歩行者動線や商業・サービス機能を配置するとともに、広場や施設内等、敷地内に子育て支援機能や交流機能などを設けます。



■公共公益性を有するまちづくり

●基盤整備

- 駅前交通広場、道路、歩行者空間を整備し、交通結節機能を強化します。
- 現在地区センター内にある自動車及び自転車駐車場については、再配置することによりその機能を維持します。

●都市機能

- 利用者ニーズに対応した商業、サービス、公共公益等の都市機能の導入を図ります。
- 地区センターにふさわしい賑わい、交流・子育て支援機能等の新たな都市機能の導入を図ります。
- 賑わい・交流を生み出す広場や緑のある空間形成等、魅力ある空間を創出します。

●周辺への配慮

- 日照、交通、騒音等、環境影響評価の内容を踏まえ周辺環境に配慮した計画とします。
- 景観まちづくり計画を踏まえ、景観に配慮した計画とします。

■持続可能性を有するまちづくり

●施設の更新性

- ・更新性を考慮し、商業・公益棟と住宅・商業棟を分離します。
- ・スケルトンインフィル等、施設内の可変性に配慮した計画とします。

●防災機能

- ・防災備蓄倉庫や一時避難場所の確保等、災害時の備えを考慮した計画とします。

●維持保全

- ・保守点検や長期修繕計画等、施設のライフサイクルを考慮した計画とします。

●魅力の維持

- ・エリアマネジメント等、地域の魅力の維持・向上を図ります。
- ・屋外広告物のコントロールや夜間景観の演出など高質な空間の形成・維持のための仕組みを構築します。

北千里駅周辺活性化ビジョン取組項目における対応方策

| 活性化に向けた取組項目 | | 対応方策 | | | |
|--------------------------------|---------------------|------|------|-----|------|
| | | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 1 誰もが利用しやすい交通環境 | | | | | |
| 取組項目 1-① | 交通広場の規模 | ○ | | | |
| 取組項目 1-② | 交通広場の構造 | (○) | ○ | | |
| 取組項目 1-③ | 歩行者空間の連続性 | (○) | ○ | | |
| 取組項目 1-④ | 回遊性の向上 | | ○ | | |
| 取組項目 1-⑤ | 安心安全な歩行者空間 | | ○ | | |
| 取組項目 2 自転車駐車場と自動車駐車場の再編 | | | | | |
| 取組項目 2-① | 自転車駐車場の再編① | | ○ | (○) | |
| 取組項目 2-② | 自転車駐車場の再編② | | ○ | | |
| 取組項目 2-③ | 自動車駐車場の再編 | | ○ | (○) | |
| 取組項目 2-④ | 環境にやさしい交通サービス | | ○ | (○) | |
| 取組項目 3 周辺の商業施設等との差別化 | | | | | |
| 取組項目 3-① | 若年世代が魅力を感じる施設の検討 | (○) | ○ | | |
| 取組項目 3-② | 公・民の枠を超えた複合化による魅力創出 | | ○ | | |
| 取組項目 3-③ | まちをリードする安全・環境先進性 | | ○ | | |
| 取組項目 4 商業施設の充実と発展 | | | | | |
| 取組項目 4-① | 商業施設のマネジメント | | ○ | (○) | |
| 取組項目 4-② | 起業家の育成や新ビジネスの検討 | | ○ | (○) | |
| 取組項目 4-③ | 情報提供やサービス機能の充実 | | | ○ | |
| 取組項目 4-④ | 地区センターがもつ役割の継承 | | (○) | ○ | |
| 取組項目 5 公共施設の整備と運用 | | | | | |
| 取組項目 5-① | 公共施設整備の考え方 | | ○ | | |
| 取組項目 5-② | 公共施設の運用の考え方 | | | ○ | |
| 取組項目 6 公共施設の見直しと新たな整備 | | | | | |
| 取組項目 6-① | 既存の図書館の見直し | | | | ○ |
| 取組項目 6-② | 既存の地区公民館の見直し | | | | ○ |
| 取組項目 6-③ | 新たなコミュニティセンターの検討 | | ○ | | |
| 取組項目 6-④ | 新たな児童館の検討 | | | | ○ |
| 取組項目 7 身近な公益施設やサービスの誘導 | | | | | |
| 取組項目 7-① | 子育て支援施設の誘導 | (○) | ○ | (○) | |
| 取組項目 7-② | 福祉サービスの誘導 | | ○ | (○) | |
| 取組項目 7-③ | 地域包括ケアシステムの確立 | | (○) | ○ | |
| 取組項目 7-④ | 医療に係る取り組みの推進 | | (○) | ○ | |

北千里駅周辺活性化ビジョン取組項目における対応方策

| 活性化に向けた取組項目 | 対応方策 | | | |
|----------------------------------|------|------|-----|------|
| 取組項目 8 にぎわいと交流の場づくり | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 8-① 既存の貸室機能の継承と見直し | | ○ | (○) | |
| 取組項目 8-② コミュニティ空間、回遊性の検討 | | ○ | | |
| 取組項目 8-③ 生涯学習の推進とコミュニティの醸成 | | | | ○ |
| 取組項目 8-④ 地域住民と大学との交流・連携の場 | | | (○) | ○ |
| 取組項目 8-⑤ 地域への誇りと愛着の醸成 | | | (○) | ○ |
| 取組項目 9 情報発信の発展 | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 9-① 「学生のまち」としての顔づくり | | | ○ | |
| 取組項目 9-② 地域情報の発信 | | | ○ | |
| 取組項目 9-③ インフォメーション機能の充実 | | ○ | | |
| 取組項目 10 土地利用と機能配置の考え方 | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 10-① 土地利用の考え方 | ○ | (○) | | |
| 取組項目 10-② 交流を促す機能配置の検討 | | ○ | (○) | |
| 取組項目 11 良好なまちづくりのためのルール化 | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 11-① 建物計画のルール化 | ○ | | | |
| 取組項目 11-② 歩行者動線のルール化 | ○ | | | |
| 取組項目 11-③ ニュータウンのターミナルにふさわしい景観形成 | ○ | | | |
| 取組項目 12 地域をリードする環境先進性 | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 12-① 環境の保全及び良好な環境の創造 | | ○ | | |
| 取組項目 12-② 環境まちづくりのリーディングモデル | | ○ | | |
| 取組項目 12-③ 環境影響評価の実施 | | ○ | | |
| 取組項目 12-④ 環境先進性の周知 | | | ○ | |
| 取組項目 13 安心安全な環境づくり | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 13-① 安心安全なコミュニティづくり | | | ○ | |
| 取組項目 13-② 安心安全のネットワークづくり | | | ○ | |
| 取組項目 13-③ 災害に強いまちづくり | (○) | ○ | | |
| 取組項目 13-④ 地域の防災拠点 | (○) | ○ | | |
| 取組項目 14 再整備に向けた組織の立ち上げや事業計画の作成 | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 14-① 再整備に必要な事業組織の立ち上げ | | ○ | | |
| 取組項目 14-② ビジョンを基にした事業計画の策定 | | ○ | | |
| 取組項目 14-③ 再整備に必要な事業手法の検討 | | ○ | | |
| 取組項目 14-④ 再整備に必要な法手続きの検討 | (○) | ○ | | |
| 取組項目 15 エリアマネジメントの組織づくりと活動 | 都市計画 | 事業計画 | 運営 | 隣接街区 |
| 取組項目 15-① エリアマネジメント組織の立ち上げ | | | ○ | |
| 取組項目 15-② エリアマネジメント組織の活動 | | | ○ | |